

行事報告

連載 楽しき町歩き 京の町並み 第10回 「都市と風土」



撮影者 洛西支部 田中 義人

今回は、京都府庁旧本館中庭の桜です。ここには円山公園の初代「祇園枝垂れ桜」の孫にあたる枝垂れ桜をはじめ7本の桜が植えられています。中にはオオシマザクラとヤマザクラの特徴を持つ珍しい品種もあることが庭師 佐野藤右衛門氏の調査で判明したそうです。2010年に佐野氏により、「容保(カタモリザクラ)」と命名されました。例年3月下旬から4月上旬に「観桜祭」(コンサート・お茶会等)が催されていますが、コロナ禍で、ここ1-2年中止になっています。今年は是非開催されることを祈ります。機会がありましたら観に寄られてはいかがですか。



# CONTENTS

- 【巻頭コラム】 「新・ふだんあまり意識しないこと…春はめぐる…」  
～エネルギーと暮らし～ 名和 啓雅 …… 03
- 【連載】 「楽しき町歩き 京の町並み」第10回  
都市と風土 辻 伸子 …… 04
- 【行事報告】 上野浩也会長黄綬褒章受章記念祝賀会 …… 06  
令和3年度 年次功労者表彰 …… 07
- 【レポート】 蘆花浅水荘の見学その2 庭園編  
金森 清正 …… 08
- 【支部だより】 洛南支部だより 伏木 道雄 …… 10  
山城支部だより 三浦 己季男 …… 10  
南丹支部だより 中西 義照 …… 11
- 【委員だより】 好評セミナー紹介シリーズ  
「開設者・管理建築士に役立つセミナー」 …… 12
- 【報告】 京都府・京都市 共同要望運動 …… 13
- 【賛助会員だより】 株式会社ジオ・ワークス …… 14  
三谷セキサン株式会社 …… 15
- 【健康だより】 睡眠習慣を見直しましょう …… 16
- 【コラム】 空き家の根本原因 野間 洋平 …… 17
- 【連載企画】 四コマまんが・えだまめ …… 18
- 【あとがき】 スケッチ …… 19  
編集後記 …… 20

## 会員数 (4月1日現在)

支部	洛北	洛中	洛東	洛南	洛西	桃山	城南	山城	乙訓	南丹	北部	丹後	合計
事務所数	53	63	32	43	43	39	19	15	25	17	19	4	372

# 「新・ふだんあまり意識しないこと…春はめぐる…」

## ～エネルギーと暮らし～

洛中支部 名和 啓雅

一昨年初頭からの新型コロナウイルス (Covid-19) は、年明けからオミクロン株感染者の増減を経て、春が再びやってきました。2年余にわたり、日本だけではなく世界に、いまだ私たちの生活に影響が続いています。100年前のスペイン風邪も3年かかってようやく収まったことを考えると、人間とバランスするにはそれくらいの時間がかかるのかもしれない。ここは腹を決めて開き直って過ごす知恵と覚悟が求められているようです。厄介なのはこの新型コロナウイルスは季節性インフルエンザウイルスと別物のウイルスということで、ある程度のごことが解明されても、どんどん変化するメカニズムは生命体と複雑に絡み合っていることを思い知らされます。この後も病原力の強い株が現れるとすれば、やはりそれに対応できる体制が社会には必要でしょう。一方で今また春が来て各地で様々な花が咲きだす光景は、私達に生命の力を感じさせてくれます。

我が国では例年にくらべ、この冬は寒い気候でした。暖房が無くてはとて冬を乗り切れるものではありません。生活の中でそのエネルギーの変化については、以前も少し紙面を借り、感じたことに触れましたが古今東西、昔から食料とエネルギーをめぐる戦争がおきています。エネルギー資源の乏しい日本は輸入に頼るしかないので、石油について昭和15年当時、世界の産油国であったアメリカが日産384万バレル、我が国の産油量が5200バレルでした。実に730倍強、日本が1年かかって生産する石油の量を、アメリカはわずか半日で生産していたことになります。しかも当時9割はアメリカからの輸入に頼っており、懸命に備蓄したことを比較してもしょうがないのですが、いくら強がったところで連合艦隊を走らすことはせいぜい1ヶ月程度しかできなかったわけです。

そんな国が大戦争をしたのですから耐乏生活と悲惨な結果は当然の結末だったといえ、何事につけ収束させる筋書きに欠けていることは今もあまり変わりません。

戦争の原因は複雑で単純なエネルギーだけのことではなかったと思いますが、現代においてもしばしば紛争や経済混乱の一因であることはたしかです。

生活面でのエネルギーの変化と共に感じるのは建築が建て替わるスパンです。京都では、5～60年前に新築された建物が近年、次々と解体され建て替わりつつあります。

新築当時50年という時間は、若かった小生意気な小僧には、とても長くうんと先のことと思っていましたが、確実にやってくる未来だったと今は感じるのです。名建築と言えないまでもこのままでは、戦後の近代建築が100年後は残っていないことになりそうで、上手くりノバージョンできないものかと思います。文化的な損失は何とも惜しまれ、スクラップ&ビルドからの転換をうたう割には実行されることが少ないように感じます。

風力や再生エネルギーだけでは解決しない日本の脱炭素社会への取り組みが、建築界にも大きな問題になりつつあります。しかし建築に限らず省エネへの取組みの基本は「もったいない」と感じるころから始まるのではないかと思います。

ワンガリ・マータイさんが世界にうったえ伝えたMOTTAINAIが、共感を呼び広まった植林運動ですが、出発点は緑化ではありませんでした。農村の貧困が、森林を伐採して農地に変え続けた結果、逆に土地が保水力を失い砂漠化が進み、水や薪、家畜の餌をより遠くまで取りに行かねばならず、子ども達は学校に通えなくなったことからののです。自然環境の悪化が原因なら木を植えたらどうだろうと彼女は考え、植林されれば現金を支払う仕組みを編み出しそれが広まったのです。経済発展を目指すあまり、自然のサイクルから度を越した消費を慎む、今で言うところの持続可能な社会を半世紀も前に見据えていたことになりました。

地球規模での環境と二酸化炭素の吸収には効果が大きい健全な森林の再生が望まれ、不況の我が国においても木材利用と流通で活性し、経済循環に有効なのではないでしょうか。

さて、そんなこんなと思い悩みながら、芽吹く生き物に教えてもらおうとしましょう。



「絶滅危惧種の一つ アムールトラ」



## ●都市と風土●

洛中支部 辻 伸子

京都の風景写真、古写真集はたくさん出版されています。私も好きで、よく見ます。

その中の一冊に『京都市電が走った街 今昔』があります。市電が全面廃止されたのは昭和53年(1978)10月のこと。高度経済成長が終わった約10年後です。市電がまだ走っていた昭和50年頃と、本が出版された平成11年(1999)の風景を定点撮影されており、20年を経た風景を比較しています。ちなみに平成11年は、バブル経済がはじけた約10年後です。

市電の時代には、市電の電線が道路の上空を縦横に走っており、現在の「景観デザイン」基準に照らし合わせれば「×」(バツ)なのだと思います。「汚い景観」ということです。バス運行になってからは、上空の電線が減って、すっきりしたように見えます。

しかし、それ以上に変わったのは「空が狭くなったな」「山が見えなくなったな」という地点が多いことです。市電が走っていた幹線道路沿いは、概ね商業地域・近隣商業地域とされており、容積率は300～600%と高く計画されているので、20年余りのあいだに中高層建物が増えたのは当たり前でしょう。土地利用の合理化が進んだといえば、進んだのでしょう。高い所へ上るほど見える空は大きくなり、視界が開けて気持ちが良い……高層マンションや展望レストランの人気のひとつです。しかし一歩外に出て道路から見渡せば、空は狭く、視界は閉ざされ、建物の影は長くかかり……屋外環境が良くなった、とは言えません。

時代も、人口も、生活スタイルも変わったし、都市の将来像を見据えて何を優先するかについては様々な意見や見方があるでしょう。しかし、生物としての「人間」は、空や



府立大学前

荒神口

山、川や土が見えることを欲するのではないのでしょうか。

元々は「気候・風土」を求めて人が住みだし、やがて都市となりました。現代での都市レベル指標は、インフラの整備や交通の便、買い物のしやすさ…など人工物による恩恵度合いが大きいと思います。

しかし「何故この地を先人は選んだのか」という答えは、やはり未だ「気候・風土」であり、空や山、川や土なのだと思います。その自然風景を見失えば、利便性さえ整えば

「住むのはどこでも良い」ということになり、その土地の必然性は失われるのではないのでしょうか？

前掲の本に載る地点のいくつかを、今年定点撮影してみました。平成11年(1999)から23年後の、令和4年(2022)の風景です。この間、高度経済成長やバブル経済・崩壊のような大きな変化は無かったように思いますが、何かが変わっていった…「町の匂い」とでもいうような何か…。



千本今出川

丸太町智恵光院

千本中立売



梅津車庫前

烏丸鞍馬口

五条坂

参考文献：『京都市電が走った街 今昔』沖中 忠順・著 福田 静二・編 / JTBキャンブックス



# 上野浩也会長黄綬褒章受章記念祝賀会

令和4年3月5日

上野浩也氏黄綬褒章受章記念祝賀会 発起人代表  
一般社団法人京都府建築士事務所協会 名誉会長 高橋 宏

去る、3月5日土曜日正午よりホテルグランヴィア京都において、上野浩也会長黄綬褒章受章記念祝賀会をご来賓、会員の方々、ご家族を含め総勢約100名でコロナ禍の中、祝賀会を開催出来たこと心より嬉しく思っております。上野浩也会長ご夫妻と発起人、八木相談役、内田・廣瀬・小林・木村副会長、金森（保則）理事、私の9名で金屏風の前で緊張しながら皆さんをお迎えさせて頂きました。昨年は、国土交通大臣建設事業等功労者表彰受章記念祝賀会を泣く泣く中止せざるを得なかったこと、残念でありました。今回は、是が非でもやると発起人で決め計画して来ました。本当に開催する勇気&ご来賓の方々の出席される勇気の中、京都府知事西脇隆俊様のご祝辞に続き自由民主党元総裁・幹事長谷垣禎一様のビデオレターに始まりご来賓6名のご祝辞、その後、小林副会長から記念品贈呈、上田事務局長から記念品贈呈、事務局員から花束贈呈と、時間の遅れを気にしたり、取り戻したりして進行表通りに進み、上野会長から感謝のお礼のご挨拶の後は、

先斗町栄藤さんの祝舞、皆さん見入って居られました。その後、乾杯、後は和やかに宴席が進んで中盤、歌手の岡田健さんの歌、上野会長も一緒になって歌って盛り上がっているのを見て、八木相談役と何人かはある旅行先を思い出したと思います。最後は、八木相談役もノリノリで閉会の挨拶を締め括って頂き最高の祝賀会を無事終える事が出来ました。会員の皆様ありがとうございました!上野会長と3人の黄綬褒章受章者を出す事が出来たのは当協会としても業界内外に当協会の活動を認めて頂いた事と大変喜ばしい事です。大変名誉な事であり、皆様と共に受章を喜び、上野会長に続いて黄綬褒章受章者が出る様に期待して居りますと共に、多くの会員の皆様が引き続き、市長表彰、知事表彰、日事連表彰、大臣表彰、黄綬褒章、叙勲を受けられる事を祈念しております。

最後になりましたが、ホテルグランヴィア京都様のコロナ感染対策対応に感謝します。



# 令和3年度 年次功労者表彰

## — 受章者 —

【副会長】 一級建築士事務所 ライン設計室 廣瀬 文孝氏

令和3年、これまでの本会の運営と発展に対するご尽力とご功績によって、本会からの推薦を受け、(一社)日本建築士事務所協会連合会から名誉ある年次功労者表彰を受賞されました。

### ◆主な功績

平成11年5月より理事に選任され、以後常任理事を経て、平成29年5月に副会長に就任し、現在に至る13年間にわたり役員として本会の運営に努めて下さっています。

専門部会は業務・技術で、平成23年から一貫して担当役員を担っておられます。

構造部門のエキスパートとして広く府市民からの相談や判定業務に応え、耐震診断判定運営委員会の委員長として適正な運営、指導を実践されています。

また、日本建築防災協会が主催する建築防災研修会に参加し、建築物の防災対策の推進に務める中、京都府の震災時緊急輸送道路の耐震化調査等、公共インフラの安心安全の構築に貢献して下さいます。





# ろ か せんすいそう 蘆花浅水荘の見学その2 庭園編

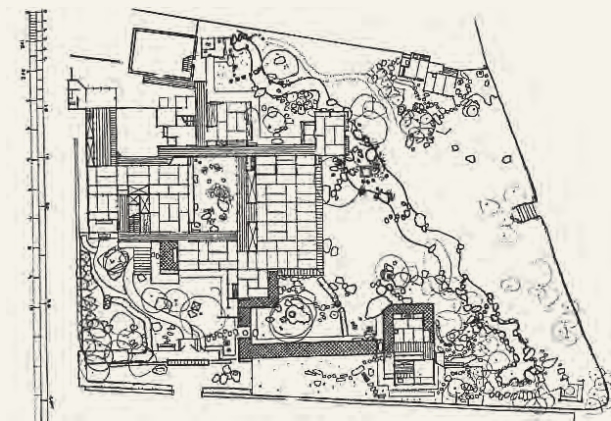
城南支部 金森 清正

前回につづいて、城南支部で2年ぶりに実施した日本庭園建物見学研修会「蘆花浅水荘」の庭園編です。蘆花浅水荘の全体の詳細は前回の建築編に譲って、庭園の概要から始めます。

## 近代日本庭園史における蘆花浅水荘

春舉が蘆花浅水荘を築造したのとほぼ同時期に、京都では竹内栖鳳が嵯峨野に別荘・霞中庵を営み（大正元年・1912～）、橋本閑雪が銀閣寺に近い浄土寺石橋町に本邸・白沙村荘を開いている（大正5年・1916～）。この時期、京都の著名な日本画家の間で、こうした別荘、邸宅の築造がある種のブームであったともいえます。

その背景として、当時の京都画壇の隆盛と、それによる一流画家の社会的地位の向上や経済力の充実がありますが、建物の普請や作庭が画家たちの創作意欲をそその対象であったとも考えられます。



建築と庭 西澤文隆「実測図」集より（上方が北です）

## 「庭園の概要」

離れ屋の東に主庭・玄関前庭・本屋東側と離れ屋のあいだにある中庭・残月亭露地庭・茶亭穂積の露地庭他があります。さらにまた本庭の施工に当たっては、当時京都で造園第一の技術者 本位政五郎氏を招き作庭、大正時代を代表する美しい庭となっています。

戦後になって、敷地東側に湖岸道路が整備され、当初の景が消えてしまったのが惜しまれます。

（重森三玲「日本庭園歴史辞典」芦花浅水荘庭園より）

## 「主庭」



大津市指定文化財 名勝 大正時代／1919 築山流水式

本庭は全面積249坪ほどあり、離れ屋（書院）の東庭となり、東部奥は湖水であって、緩やかな野筋風の起伏が大なり、中程に西北から東南（湖水方向）へ緩やかな沢が、流れを作っています。

起伏には数本の小松を植え、流れの中央には沢渡りを設け、二三の小石を捨石として配してあります。遠くには、琵琶湖対岸の三上山（近江富士）を借景し、春挙画伯自らの設計で、「自然主義的様式の上に、更に絵画的様式」を加味したものらしく、造園家 重森三玲氏は、「庭園の形式をとった絵画」と評しています。



離れ屋 入側より主庭を見る 右端が記念堂

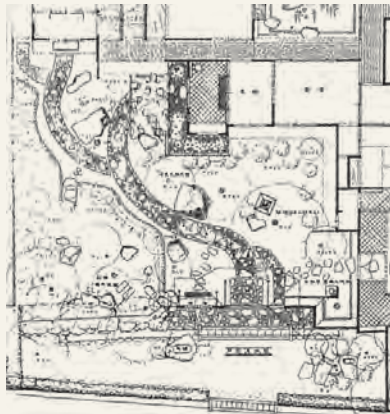


離れ屋 莎香亭より主庭を見る

「蘆花浅水」という名にちなんで、離れ屋「莎香亭」横の水盤の周りにはアシ（蘆）が植えられています。



### 「玄関前庭」



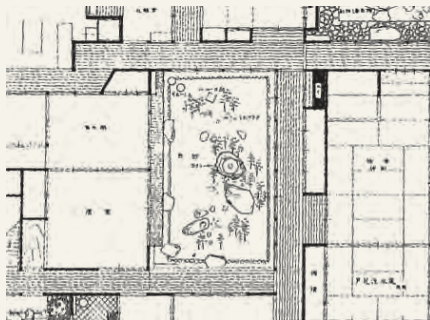
玄関前庭平面図 (重森三玲氏の実測図) より

表門を入り、石畳に沿って左前方に進むと、建物本屋の玄関、他方 石標を左に進むと内玄関あります。表門の右方 飛石伝いの先には、唐破風の中門があり、庭園露地の方に直接入れます。中門前には、禅寺でよく目にする「不許葦酒肉入門内」の石標が立っています。



### 「本屋東側の中庭 (中壺)」

中庭一面には白川砂が敷かれ、四方竹が三つ四つの群落として植栽されています。



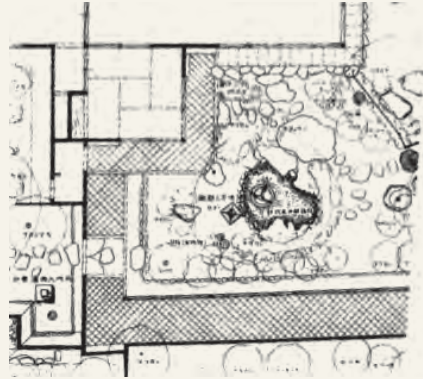
本屋東側の中壺 (重森三玲氏の実測図) より



正面奥・廊下を挟んで奥が竹の間

### 「残月亭露地庭 (茶庭)」

記念堂横にある「梅見門」より奥 (西側) の露地庭



残月の間の露地庭 (重森三玲氏の実測図) より



露地入口「梅見門」

### 「茶亭「穂積」の露地庭」

茶亭「穂積」は昭和七年六月からほぼ1年をかけて建築された。



穂積の露地平面図 (重森三玲氏の実測図) より



貴人口前の蹲と灯笼



## 洛南支部

支部長 伏木 道雄

### ドローン講習2

池谷さん／洛南支部の会社（株式会社 Fujitaka）主催の体験版ドローン講習に参加致しました。ソーシャルディスタンスが配慮された会場「おいで〜かわなべ／旧川辺小学校」南丹市園部町船岡にて開催されました。教室にて、座学講習を受講し、当日は雪のため、元講堂にて、操縦の実技講習を受けました。

ゲーム用コントローラーにモニターが付いたイメージの操作盤（写真1）でドローン进行操作します。目視とモニター画面を確認し、電源 ON → 上昇 → 前進・後退 → 左右移動 → 下降（着地） → 自動的に電源 OFF。操作に合わせて、映像は正面と真下に切り替えが出来ます。（写真2・3）ゲームに近い感覚で、操作を楽しめました。

業務内容により有効活用出来ます。山間部等の足場の悪い敷地や、広い敷地での事前調査や工事進捗確認、建物等外観調査、新築予定建物の特定の階（特定の高さ）からの眺望確認等、多種・多用途で利用されています。ドローン映像を処理し、3D敷地図の作成も可能です。

ドローンで本格業務される方は、操縦資格取得や、撮影のための官公庁手続き等が必要です。また、ドローン撮影の依頼も可能です。

（参考：講習費用は、基本コース約121,000円（3日間）から、用途に応じた専門コースの設定もあります。撮影依頼も含めて、詳細は、直接お問い合わせください）



写真1



写真2



写真3

## 山城支部

支部長 三浦 己季男

### みなさまの安寧を祈ります!!

またまた、すじかい用記事の依頼が来ましたので、今回は、協会に対して思うことを記載します。

- 個人的なことですが、昨年から両親とも要介護になり、長時間家を空けることが困難になりました。コロナ禍のおかげで、たいていの業務がリモートと郵送でこなせるようになり大変助かっております。

私の事務所から協会本部（紫明会館）までは公共交通機関で約1時間30分かかるため平日の午後に会議があると半日以上時間をとられるため、昨今会議がWEB会議となり非常に助かっております。

- 支部長会議では毎回、ZOOMでのWEB会議をしてくれますが私の所属する法令委員会の会議では過去に一度だけWEB会議が行われましたが、その後は一切、WEB会議を行っていただけません。

できるだけWEB会議を行っていただきたいです。

- 協会ですらいろいろと興味深い講習会などが行われておりますが、会場が紫明会館か福知山での開催のみのため、我々遠方の会員は簡単には参加することができません。

参加するためには、平日の昼間に半日、または一日時間を空けることが必要になります。

よって、WEBでの参加の選択肢も、検討していただきたいです。

また、平日の昼間に参加できない会員のためには、空いた時間に、自由に視聴できるようにできる様にしていきたいです。

もちろん、協会員は無料で視聴できたりしますとさらに嬉しいです。

- 最後に、これはわりと簡単なことと思いますが、私の事務所からは、奈良会の事務所までは公共交通機関で18分、大阪会の事務所までは1時間のため他の単位会の講習などの情報も頂きたいです。

以上、私の希望でした。

- こんなことを書いてしまうと、もっと具体的に幾らくらいかかるかを、検討してから提案しろと会長あたりに怒られるかもしれませんが、なんとかご検討願いたいです。

先の見通しがつき辛い日々が続きますが、みなさまの健康をお祈りいたします。



## 南丹支部

支部長 中西 義照

### 最古の天満宮「生身（いきみ）天満宮」、最後の城「園部城跡門」修復工事現場見学会

昨年年末は恒例の会、開催が出来ませんでした。

年末にコロナ禍で出来る事ということで屋外開催は?というご提案がありました。

タイミングよく支部会員の樋口さんが監理されている生身天満宮の修復工事現場を案内していただくことになりました。

生身天満宮とは南丹市の中心部、園部の天神山山腹に鎮座する。園部の地は菅原氏の知行所であり、小麦山に菅原道真の邸宅があったと伝えられています。

全国で唯一、菅原道真公が生きておられる時に生祠として祭祀したことから、生身（いきみ）天満宮と称し、これが日本最古の天満宮といわれる所以です。

境内は、本殿・拝殿を始め、どの建物も老朽化が進み危機的状況の中、菅原道真公 1125 年記念大祭に向けて大規模な保存修理を行う境内修復事業目標計画を立て拝殿工事の真っ最中、屋根の下地がちょうどみられるタイミングで当時の大工さんの仕事の跡が見て取れる状況でした。

時代ごとの修復の違いも興味深く見る事が出来ました。

やはりこのような見学会は設計者同士だと深い話が出来る勉強になります。

最古に対して最後の城といわれている園部城門へ。

園部城（そのべじょう）・園部陣屋（そのべじんや）は、京都府南丹市園部町小桜町周辺にあります。

園部城が日本の城郭史で最後の建築物となっています。

そして、石川楼へ移動、昼ミーティングと相成りました。

石川楼は園部城主が舟遊びをした川沿いにある場所で、そこから眺める冬の景色は情緒が感じられました。

武士や殿中勤めの女性たちのホタル狩りや川遊び、納涼でも賑わい、武士はここで殿から盃をもらうことを最上の光栄としたとされています。

次回も屋外での勉強会や情報交換など企画していきたいと思えます。



生身天満宮 修復の御浄財募金 受け付けておられます <https://www.ikimi.jp/index.html>

## 好評セミナー紹介シリーズ 「開設者・管理建築士に役立つセミナー」

研修委員会 副委員長 高木善次

この業界は『一生 勉強である』と昔から言われています。

この言葉は、単に資格試験の勉強を指すのではなく、資格取得後の勉強（研鑽）が重要であることを指します。

特に近年は、目まぐるしく建築関連法令の改正や新設、新しい技術の開発、社会ニーズの変革、価値観の変化などなど。それらに対応出来る知識や資質を有することを求められています。

また、建築は雑学であるとも言われます。工学のみならず、経済や歴史、心理、環境などなどにも精通する必要があります。

このことは、建築士事務所を経営、管理している『開設者や管理建築士』にも当然求められていることであり、単に建築士法第27条の2第7項に規定されているから行うのではなく、自主的に自己研鑽を行うことが求められています。

これらの状況を踏まえ、（一社）京都府建築士事務所協会では、『開設者・管理建築士に役立つセミナー』と称して、京都府にも協力を得て毎年セミナーを開催しています。

その時々ホットな内容で、必ず業務に役に立つ内容となっています。

参加者からは、

『いままで、あやふやだった箇所がハッキリ分かって、これからの業務に役立ってイける!』

『そう言うことだったのか。よく理解できた!』

『知らなかったことが、よく分かった。これからの業務に活用出来そうだ!』などなど、多くの喜びの声を聞かせて頂いています。

近年は、会場を拡大して本協会の紫明会館3階講堂と福知山会場を設け、リモートにより両会場をつなぎリアルタイムのセミナーとして開催しています。一方通行のセミナーではなくて、参加者と講師が双方に活発な議論や質疑応答が行われています。

それ故、人気のセミナーとなっています。お申し込みの際は、お早めに申し込まれることをお勧めします。

### 最近のセミナー内容（抜粋）

- トラブル対応とリスク管理について：建築基準法上の法令違反がない物件のトラブルについて、弁護士からの視点による見解
- 建物建築時における登記情報等の有効活用
- 隣接地との境界問題の発生と解決策
- 生産緑地の2022年問題
- 人を雇ったらしないといけないこと
- 法人の場合と個人事業主の場合の違い
- 各種雇用関係助成金制度の一例
- 不動産登記法の豆知識とトラブル対処法

などなど

最後になりましたが、研修委員会では、このセミナーだけではなく、会員の皆様の業務に役に立つ勉強会や見学会などを企画・開催しています。いますぐに必要な内容でも数年後には必ず役に立つ内容の勉強会もあります。是非、ご参加下さい。





## 要望運動

令和4年2月1日、京都府及び京都市に共同要望運動を行いました。

上野浩也会長、内田康博副会長、廣瀬文孝副会長、由村知行専務理事、上田政行事務局長が京都府・京都市に赴き、行政に要望しました。

### 【要望内容（全国共通）】

1. 業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について
2. 入札方式によらない評価方式の採用と適正価格の設定について
3. 建築士事務所賠償責任保険への加入について
4. 建築CPD情報提供制度の実績活用について

※要望運動とは

日事連と各単位会が連名で、建築士事務所の健全な発展により建築文化の向上を図るために実施しているものです。

### 【要望内容（京都独自）】

1. 建築士事務所登録について
2. 改正バリアフリー条例の改正部分の引き続きの検証
3. 景観レビュー制度の見直し
4. 関連する条例や要綱の合理化
5. その他

京都府



京都市





## 株式会社ジオ・ワークス

### 業務内容

- ★地盤調査 スクリューウェイト貫入試験  
ラムサウンディング試験  
標準貫入試験（ボーリング）
  
- ★地盤改良 表層改良  
柱状改良  
小口径鋼管
  
- ★3D測量 FARO S350 3Dレーザースキャナ  
解析 点群データ処理ソフトウェア Trimble RealWorks
  
- ★土木一式

当社は創業以来、各ハウスメーカーおよび工務店様の  
地盤調査・地盤改良工事を主に請け負っています。

特に地盤調査は確認申請時に義務付けがされ資格を持った技術者で、  
安心安全をモットーに取り組んでおります。

代表取締役 江口 和広

地盤調査を基本とする地盤づくりの技術を通じて、  
お客様が安心・安全に暮らしていただける  
住環境づくりを提供いたします。

〒620-0804 京都府福知山市石原5丁目306番地  
TEL 0773-27-7805  
FAX 0773-27-7806  
URL:<https://jioworks.bsj.jp>





汎用型施工管理システム

# Check & View

三谷セキサン株式会社 大阪支店  
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-22  
☎06-6920-6611

ゼネコン・杭メーカー・工法を問わずに、現場の状況を簡単に確認できるクラウド利用のシステム

本システムは、クラウドを利用した管理・記録のプラットフォームです。杭工事に関係する全てのゼネコンや杭メーカーが利用できます。現場から離れた場所でも、スマートフォンやパソコン画面でリアルタイムに情報を確認することができるため、品質のチェックだけでなく、進捗管理や緊急時の現場サポート用ツールとしても活用することができます。

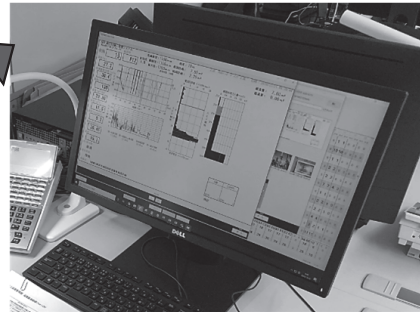
Check & View  
ご利用ガイドライン



スマートフォン（アプリ）



品質と進捗の確認 ※1



施工管理チェックシート

QR 記録状況 ※2



品名	継手(頭)	継手(先)	施工チェック
1 BFS105 A φ1100-100120-11M	4040 I N	TYPE- I	OK
2 MS-HI105 B φ1100-11M	4049 II N	4040 I N	OK
3 TS-DAM105 A19 φ110120-12M	4949 III N	4049 II N	OK
4 HI-SC105 t25 φ1200-07M(T19-05)	TYPE-P	4949 III N	OK

※1 管理装置を用いる場合は、別途ご相談ください。  
※2 QRシールの発行システムをご希望される場合は、別途ご相談ください。

**施工管理チェックシート**

工法: Hybridリーディング工法  
現場名: テスト現場A  
施工開始日時: 2024年11月19日00:00 施工完了日時: 2024年11月19日15:30

計画値	実績値	差
設計値	53.50	-1.73
55.23	53.50	-1.73

2. 2層目ヘッドの状況確認

3. リーダー・埋戻しロッドの検査確認

4. A支持層に係る確認

5. 最終確認の状況確認

6. 杭頭入れ部の確認

7. 基礎面確認

8. 杭頭部の確認

9. 杭頭部の確認

10. 杭頭部の確認

11. 杭頭部の確認

12. 杭頭部の確認

13. 杭頭部の確認

14. 杭頭部の確認

15. 杭頭部の確認

16. 杭頭部の確認

17. 杭頭部の確認

18. 杭頭部の確認

19. 杭頭部の確認

20. 杭頭部の確認



お問い合わせ窓口はこちら  
東京 ☎03-5821-1122  
福井 ☎0776-20-3333

## 睡眠習慣を見直しましょう

春は花が咲き誇りフレッシュな気分になる季節ですが、一方で寒暖差や気圧の変動が大きく、環境の変化なども多いことから、心身の不調をきたしやすい時期でもあります。この不調を予防・改善していく上では、睡眠が強い味方となってくれます。睡眠は、十分な睡眠時間の確保もちろん大切ですが、良質な睡眠を追求することも非常に重要です。今回は睡眠の質を高めるためのポイントをお伝えします。



### 睡眠の質を高める8つのポイント



#### ● 就寝・起床時刻を固定する

規則正しい睡眠習慣は、体内時計を整え快眠につながります。可能な限り布団に入る時刻、出る時刻を固定しましょう。



#### ● 起床後すぐに日光を浴びる

体内時計は周期が24時間よりも長いのですが、朝の光を浴びることで24時間周期にリセットできます。起きたらまずカーテンを開けて自然の光を部屋に取り込みましょう。



#### ● 日中は活動的に！朝食を欠かさずに！

日中適度に身体を動かして活動的に過ごすと、夜の睡眠で深く長く眠れるようになります。また、日中の活動を低下させないために、朝食を毎日欠かさずとることも重要です。



#### ● 入浴は就寝2～3時間前に

入浴により体温を一時的に上げておくことで、寝つきが良くなり深い眠りが促されます。また、体の睡眠モードへの移行を妨げないように、寝る前はリラックスして過ごしましょう。



#### ● 就寝前の飲酒(寝酒)・喫煙はしない

アルコールは寝つきをよくしますが、眠りを浅くして早く目が覚めるようになります。喫煙もニコチンが刺激剤として作用するので控えましょう。



#### ● 就寝前の食事、カフェイン摂取は控える

就寝前の食事は消化活動が睡眠を妨げます。また、カフェインを含む飲食物(コーヒー、緑茶、チョコレートなど)には覚醒作用があるため、敏感な人は就寝の5～6時間前から控えましょう。



#### ● 寝床に入ってからスマホを見ない

スマホやタブレットのディスプレイから発光されるブルーライトは、体内時計をずらし寝つきを悪くします。寝る前にスマホなどをいじるのはやめましょう。



#### ● 昼寝は30分以内、午後3時までに

仕事などの都合で夜間に十分な睡眠時間を確保できなかった場合は、午後の早い時刻に30分以内の昼寝をすると、午後の眠気を解消し活力を与えてくれます。



### 引き続き基本的な感染症対策も徹底しましょう！

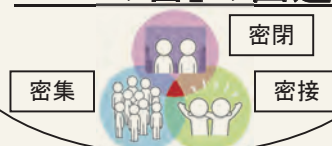
#### 手洗いの実施



#### マスクの着用



#### 「3つの密」の回避





## 空き家の根本原因

洛西支部長 野間 洋平

近年、空き家に対する関心が高まっている。SDGsの影響も大きいのだろう。空き家の利活用やDIYがテレビで紹介されることで、空き家を求める者もいる。大手住宅メーカーや不動産業においても空き家と言うのはすでに無視できない存在となっている。

ではここで言う空き家とはどういった物なのか。空き家にはいくつかの種類があるが、ここでは『その他の住宅』に焦点を当てたい。今、世間的に周知される『その他の空き家』。この空き家にクローズアップした時、なぜ空き家が増えるのかと直接原因がよく語られるが、根本原因については誰も語ってくれない。空き家になる原因の多くには相続問題が取り上げられる。相続したけど使う必要性はないし、建物があると税金が安くなる。人に貸すほど責任や管理するのも大変。だから放置状態。そんな人も多いのだろう。しかしこれらは直接原因であって、根本原因ではない。では根本原因とは何なのか。私なりの解釈を試みたい。

まず、空き家の特徴を分けて考えてみる。1つ目は地方における空き家。2つ目は中心市街地における空き家。3つ目は共同住宅における空き家。

1つ目の空き家はいわゆる田舎の建物を想像してもらおうと分かり易いかもしれない。ひと昔前、田舎での生活環境の多くは2世帯、3世帯で暮らすというのが当たり前であった。しかし現代は、子が仕事を求め市街地に移住することが多い。当たり前のように感じることであるが、この根本原因は何なのかを考えてみるとおもしろい。市街地に仕事を求めるということは市街地に経済が集中しているということである。市街地に経済が集中するというのはいつの時代でも、江戸時代でも鎌倉時代でも同じであるが、現代と大きく違うことがある。それは学問の向上。現代では義務教育はもちろんのこと、高等教育さらには大学進学と誰もが学べる環境が出来ている。知識を得ることで幅広い職業に就くことができるため、田舎から出ることが多くなる。すなわちその建物で継続していた世襲が途絶えることを意味する。途絶えれば空き家となることは避けられない。

2つ目の空き家に多い特徴は狭小であるということ。市街地というのは古来より人が地方から集まり形成されることが多い。限られた土地に人が集まるため住戸は狭小になっていく。そして現代日本の市街地というのは場所が移り変

わることが特徴的だ。京都では長い歴史があるが日本全体で見ると首都が変わったり、新たな市街地が形成されることが多い。新市街地ができると人も流れるため、旧市街地には狭小住宅が取り残される。また京都市のように古くからある市街地であっても周囲に開発された住宅街が生まれ、交通の便が整えば近い狭小住宅より30分離れるニュータウンに移住するだろう。残った狭小住宅が少し離れた中規模住宅どちらを選ぶか問われるなら後者が多いだろう。私の住む西京区は新興住宅街が多く、京都市でも空き家率が一番低いのもそういう理由かもしれない。

3つ目の空き家の原因はやはり設備問題だろう。エレベーターがない、お風呂が古い、トイレが古い、間取りが古い、一方で新しいマンションが建つ。安価だが不便な建物か、そこそこの価格でも便利な建物かと問われると人は便利なものに惹かれる。そして不便な建物は建築当時では考えられない設備が増え、更新が容易でないため現状維持となり入居者がなかなか来ない。日本人は新しい物好きのミーハーな国民性があるようで築50年のマンションと築10年のマンションなら絶対10年ではなかろうか。築1～2年なら即満室である。

空き家を取り上げる時、多くはその建物に関わる直接的な原因が取り上げられがちだが、社会全体を見据えた根本原因を探ることがとても大切に思う。

リモートワークが本格的に定着すれば広い土地建物がある地方の中古住宅は需要が高まるだろう。一極集中いわゆるコンパクトシティの真逆の流れとなる。一方の集中していた市街地では今後、狭小土地を合筆または再開発により脱狭小化の流れを作る必要がある。そして共同住宅は今後、しっかり設備更新ができるよう計画的な設計の必要性が求められるだろう。

空き家問題が多く取り上げられる昨今ではあるが、空き家の何が一番問題かということやはり税収である。財政難の市町村は総じて空き家率が高い。財政難だから空き家が増えるのか？いや違う。そこに住居がないからだ。人が住みにくい環境、周りに住みやすい環境があるから空き家が増える。空き家と税収は表裏一体。空き家問題を解決しなければ財政難は乗り越えられないだろう。

## 本日のおさらい

各行政庁で擁壁の指導要綱があるので調べておきましょう。

転倒しないこと



滑らないこと

主にこの2点が重要項目！

条件を絞り込んだ標準擁壁を公表している市町村もあります。



## 耐力アップ講座

建物が少し強くなるかも？

擁壁の巻

(作・田中祐介)

## えだまめ

株式会社日設の野々山さんからご紹介頂き、同じく洛東支部の株式会社林建築設計事務所 須黒大誉社長様にお話を伺いました。

確か創業から60周年を超えてらっしゃいますね。

…はい。創業者の故林謙次先生が昭和32年に設立されました。現会長を務めております父や所員皆の力で、今年で65周年を迎えることができました。

お父様がお仕事をされる姿をご覧になって建築設計の道に進まれたのですね。

…今この仕事をさせて頂いているのは父の影響が大きいと思いますが、実は私自身文系の出身なんです。文学部を卒業後改めて建築を学ぶために専門学校に行きました。

その大きな方向転換には、何かきっかけがあったのでしょうか？

…1回生の頃、著名建築家によって設計されたJR京都駅や京阪宇治駅などがよく話題になっていました。そういった事もあり私自身も建築の雑誌を見たりしながら設計の道に進む決心をしました。専門学校に入ったのは文学部を卒業してからになりましたが、ちょっとした憧れの「図面を入れる筒を持つこと」が出来ました(笑)。

その気持ちはすごくわかります。私の時代はT定規とかが鞆に刺しているだけで恰好いいなあと思いました。

携わってこられたお仕事のお話もお聞かせ頂けますか。HPを拝見しますと小学校から大学、総合支援学校など学校関連から、寺院、住宅、商業施設等々大変幅広い分野の設計をされていますが、印象に残ったお仕事のお話などをお聞かせください。

…数々あるのですが、比較的最近では京都市動物園の中にある

「ゾウの森」の設計をさせて頂きました。なんといっても住人(人?)は5頭の象ですので鉄の扉も1枚で2tonといった具合で製作業者を探すことから未経験のことばかりでした。又大阪の天王寺動物園をはじめ各地の動物園を見て回ったりとてもいい経験にもなりました。

未経験のことに挑んでこられたのですね。

…今思えば他にも体育館の上にプールがある建物や学校などを耐震・バリアフリー・省エネといった大改修で長寿命化させる計画など、設計者として未経験のことに携わったことが多かったですね。そういった機会に力を発揮するのが我が事務所のスタッフの得意とするところかもしれません。

お話を伺いました林建築設計事務所様でこのコーナーも連載16回を迎えましたが、今回もまた建築設計のお仕事に真摯に向き合っておられる方のお話を伺う事ができました。取材のときにはあえて口には出されませんが、創業者が掲げられた信条「実用ならざるもの美ならず(ブルーノ・タウト)」を現社長も大事にされていることが、所員の皆様の未経験の設計課題に集中して取り組まれる姿勢とともに素晴らしい社歴に繋がっていると感じました。須黒社長、とてもいいお話ありがとうございました。





## 京都市京セラ美術館

このたびのリニューアルで美術館前に穴ができた。穴の縁が階段状になっていたの、そこに座って描きたいとずっと思っていた。たまたま時間ができたので描いてきた。これで50分くらいかかっている。お天気がよくて気持ちよかった。また描きたい。

帝冠式にはあっさりしているのは、武田五一が美

術館コンペの審査委員だったからだろう。ライト風の装飾も武田がライトと親交が厚かったことをみんなが知っていたからだ。

意匠もおもしろいが、わたしは自然光をうまく取り入れた照明計画こそ武田らしいと思っている。武田の関わった天王寺の大阪市美術館とそこのところがよく似ている。また、大型ボイラーを使った全館空調も最新鋭だったろう。そうした先駆的な設備計画はもっと評価されてよいと思う。  
(スケッチと文章、円満字洋介)

※前田健二郎原案、京都市営繕課設計、清水組施工、1933年竣工  
ヴァッパール紙粗目F3、グラフィックペン0.3、固形透明水彩、2021.11.19スケッチ



## 編 集 後 記

私の暮らす西京区には、数は少ないですが古民家が現存しています。また仕事で関わることの多い歴史ある建造物でも、一昔前は現在と違い、お百姓さんや大工さん、左官屋さん等の作業の線引きは、今ほど明確ではなかったのでは?と感ずることが多くあります。材料では屋根に葺いてある茅やその他の草、杉皮や檜皮など、また垂木に使われている丸竹や壁の下地の小舞竹、壁土や藁など、多くは農業に関係するものです。道具に目を向けても、鎌や鍬やスキ、つるはしやスコップにかけやに大ハンマー、金槌や砥石など、共通するものばかりです。思い返せば40年近く昔、私が丁稚の頃いろいろと厳しく教えて頂いた大工さんも、毎週土曜日の帰りに、「明日は草引きだ」「田植えだ」「刈り取りだ」「収穫だ」、と仰っていた事を思い出します。今お付き合いさせて頂いている農家のご主人

も、農具の刃物の研ぎはもちろんの事、様々な農機具の修繕などもほとんど自身でこなされます。材料をわざわざ他の地域から買って運ぶ必要が無く、近辺の木材や土などを使い、知恵と工夫を凝らしてほぼ自分たちで建築されたのではとの考えに至ります。高層ビルなどとは違い木造建築の場合は、雨風にさらされて風化や劣化が進む箇所については、常に点検が出来るよう目視や修繕がしやすい構造にしておく。夏と冬では建具をはめ替えたり、大雪から家を守るための雪囲いを設けたりする。先人の知恵には本当に敬服し、学ぶ事ばかりの日々です。現在ちまたで騒がれている(SDGs)とは、実は当時の生活を振り返り、地産地消を心がけ、諸外国と上手く付き合いながら国内で回せる暮らしや産業を再考する、ということかも知れませんね。わたしも今一度、初心に戻りたいと思います。

(洛西支部 風月 貴広)

- 発行 令和4年4月1日
- 発行所 一般社団法人 京都府建築士事務所協会  
〒603-8163



京都市北区小山西大野町1番地 紫明会館1階  
TEL 075-334-5277 FAX 075-334-5377  
<https://www.kyoto-kenchiku.com/>



- 編集人 編集長 堀井里見  
編集委員 木村 智、岩村和男、橋本勇樹、  
石井克憲、酒井 徹、田中祐介、  
風月貴広、小峠圭三
- 印刷所 株式会社ティ・プラス